

## 夏休み特集

# 調布の自然で遊ぼう

僕たち  
水生昆虫班。



身近な自然には楽しいものが一杯。みんなと一緒に、さあ出かけよう！！

7/13(水)柏野小学校の5年生が各自調べたテーマをもとに、実際に体験に出かけました。カニ山・植物班・昆虫班、野川・植物班・水生昆虫班、その他の5班に分かれて、見て、触れて、想像しました。アリジゴクやカタクリ、野川の生き物、原始人の暮らしからゴミの問題まで多岐にわたるテーマがあり、屋外での活動に子供達も先生も大喜び。ゲストティーチャーもさあ大変！

7/2(土)エコクラブ 初め川へ入るのをためらっていた子ども達も、いったん入ってしまうとすぐに慣れ、夢中になって網で川底をすくっています。間もなくすると、あちこちから大きな歓声があがっています。「メダカが採れた」「この魚なに」「タイコウチ捕まえた」……。午前11時半、みんなが採取した生き物を持ち寄り、透明なケースに入れて講師から説明を受けました。この日見つけられた生物はコイ、フナ、モツゴ(クチボソ)、ナマズ、メダカ、アメリカザリガニ、ミナミシマエビ、ミズムシ、ミドリシビル、マシジミなど。

川からあがって佐須用水沿いを進み、途中谷戸と水田の風景を眺めながら、カニ山キャンプ場に到着。この頃になると晴れ間ものぞき気温も急上昇。しかしここは別天地で、涼風が抜ける中弁当で昼食。講師より「この林はクヌギ、コナラ、エゴなどの落葉樹が多く、冬になると落葉し日がよく当たると草が生え、その草に昆虫が集まり、その昆虫を狙って鳥が来る」という説明に、子ども達も聴き入っていました。



何が入ってるかな？



7/9 カニ山の保全活動  
の合間にシュロで作ったバ  
ッタとカタツムリ。



柏野小では総合学習の時間を利用して佐須地域の自然環境について勉強しています。この総合学習には調布市の環境保全に関わる活動メンバーが、ゲストティーチャーとして応援しています。

エコクラブは5月の市報で会員を募集しました。講師の指導で楽しみながら自然環境を理解することを目的として開催されています。こちら環境市民懇談会のメンバーらがサポーターとしてお手伝いしています。次回8/6デイキャンプのサポーターも募集中です。

6/4 環境フェアでは自然学習ボランティアの方が葉っぱ笛や竹笛の作り方を教えてくれました。

# 入間・樹林の会

7月17日、樹林地の入り口に、ヤマユリが2輪咲いて私たちを出迎えてくれました。前日には1輪だったそうです。ちょうどカカ・コーラ環境教育賞主催者賞も受賞したそのお祝いでしょうか。他にもヤブミョウガ・ハエドクソウ・ミズヒキ・ギンミズヒキ・ツクサ・ミツバの7種の花が咲いていました。根本さんを講師に方形枠調査と植物観察(プチ違いシリーズ、クズとヤブマメ、アカメガシワとイイギリ、ミョウガとヤブミョウガ)の後、西側樹林地への通路づくりとアジサイの剪定をしました。9人の参加者でも、短時間ながら効率よく作業ができました。(A)



今年は2輪の花が！  
近くに行くと、気高い匂いが漂います。

# カニ山の会

7/9(土)曇り 参加者11名+1名(環境保全課)  
作業内容確認後、里さんの指導で太極拳風準備体操、気持ちよく体をほぐしたところでゴミ拾い。(今回は非常に少なくホットした)

倒れそうな枯れ木を整理するため、小島さんから伐採方法の説明を受ける。今回初めて参加した方も鋸を入れたり力を合わせてロープを引いたり・・・。根元が腐りかけた木はゆっくりと倒れた。その後1.5mほどに玉切りし通路脇へ搬出。サワラと思われる樹木は年輪から樹齢70年位と推定。

方形枠調査に関しては時間も足りず、調査の目的の話し合いも次回に持ち越しとなった。(K)



今回のゴミは少ない



鋸を入れ、枯れ木を倒す

# 環境モニター



7/2(土)9:30~15:00曇 参加7+2名

午前中はワンド周辺の植物とワンド下流高水敷の植物を観察記録し、標本作成用の植物を採集。午後は室内にて標本作成を練習。また、今までに作成した標本は講師(トキワ環境より溝口智秋氏)に同定と標本作成の解説をお願いした。

観察できた植物はワンド周辺で約90種類。ワンド下流高水敷は約60種類。ハルシャギク(コスモスに似た園芸品種)の花がたくさん咲いていた。

ワンド上流にある浅い水溜りは、伏流水が入っている様子で、たいへん水が澄んでいたが更に上流にある水溜りは、釣りエサの影響か、茶色く濁っていた。多摩川と付近の水溜りの水量は多めだった。

・観察できた昆虫はナガメ、アオスジアゲハ、アゲハチョウ、モンシロチョウ、コシアキトンボ、キチョウ

# 田んぼの学校 ちょうふで田んぼ日記 その24

-田んぼの生き物は元気?-

やはり、田んぼに水がないと、生き物たちのリズムも狂うらしく、今年はホウネンエビが見られませんでした。生き物も植物も少しずつ、例年より成長が遅いように思います。アマガエルのおたまじゃくしはやっと後ろ足が生えてきたばかりです。その他の水生昆虫などは、7月中ごろにやっと戻ってきました。稲の生育も遅く、そろそろ穂が入ってほしい時期ですが、まだのようです。

反対に毎年悩まされる藻や雑草は、今年は少なく、助かっています。その一つに、カルガモ夫妻(兄弟?)のおかげもあるかもしれません。大体、朝夕に、田んぼで食事をしている姿が見られます。

さて、この遅れが収穫量にどう影響するかは今のところわかりません。これから台風の季節になります。前回、6月下旬には田んぼの水が枯れていることを書きましたが、今度は「もう水はいらないよ」というお話になるかもしれません。みなさんこれからの夏休みに水害事故などないように。

(田んぼの学校 こんどう)



ハイロカゲロウの幼虫



シオカラトンボのヤゴ



環境モニター 榎本 勉さん



私が小学生の昭和 28 年頃今の染地 2 丁目、3 丁目のほとんどは千町（せんちょう）耕地という大きな田園が広がっていた。布田崖線の下には根川という湧水の川が流れ、水田はほとんどこの湧水でまかなわれていた。田植え前は大人たちが川さらいと草刈で流れをよくし、透き通った冷たい川だった。春先は油を採るための菜種が作付けされ、レンゲと共に一面が赤と黄色と緑でうめつくされた。

そんな水田の周りには小川と、あちこちにテビと呼んでいた幅 15cm くらいの水路があった。そのころ子供たちはあまり遊ぶことがなく 3 ~ 4 人集まるとよく魚とりに行った。冬の流れの止まった時、瀬干しといって上と下に堰を作りその中の水をバケツで汲み、魚をとる。ウナギ・ナマズ・フナ・ドジョウ・エビガニ（ザリガニ）などが捕れた。もう一つは竹製のゴミトリ（ザッコミ）や針金で作った網で川の中の草の下などをしゃくくと、次のようなものが捕れた。フナ・メダカ・ウナギ・エビガニ・ハヤ・ドジョウ・オババ・ギバチ・ダボハゼ・トゲウオ・ヤツメウナギ・イモリ・タガメ・ゲンゴロウ・ミズカマキリ・ミズスマシ・ヤゴ・カワムシの仲間・ヒルなど。イモリがかかったときは腹が赤いので気味が悪かった。ハグロトンボが川上を飛び回り、場所によってはサワガニ、ホタルが飛ぶところもあった。黄色いシジミやカワニナもいた。田んぼにはタニシがいてよく食べた。また秋にはイナゴもとって食べた。

ハケ上のクヌギの木にはセイカチ（カブトムシ）・クワガタ・タマムシ・カミキリ・カナブン、樹液にチョウも集まった。カエル・ヘビ・バッタ・モグラ・イタチなどもいた。ワサビ田跡も 5 ヶ所あった。

\* 榎本さんは S.13 年国領町の農家の生まれ。「フォトサークル調布」に所属し調布の自然の様子をカメラに収めるのが趣味。現在は「ちょうふそぞろ歩き」（環境モニター）の案内役などで活躍中です。

環境保全課の窓口

第 1 回「環境基本計画策定委員会」開催

6 月 30 日（木）第 8 会議室にて開催しました。出席者は委員 18 人のほか環境保全審議会副会長、市長、環境部長、環境部次長、事務局 6 人。（傍聴 2 人）。市長挨拶の後、事務局紹介、委員自己紹介につき、委員長に鬼頭委員を互選しました。

環境管理計画の見直しについて

ア 現行環境管理計画について、事務局より説明

イ 環境保全審議会答申について、環境保全審議会の齊藤副会長より説明

基本計画策定の進め方について事務局より説明

計画策定の進め方、調布で重点的に取組んでいきたいことなどフリーディスカッション

この委員会の詳しい議事録は市のホームページで閲覧できます。

第 2 回環境基本計画策定委員会開催

7 月 28 日（木）18 時 ~ 20 時、たづくり 9 階研修室にて開催されました。詳細は次号にてお知らせいたします。（佐々木）

~ ちょうふ環境市民懇談会 ~

運営委員会

7 月 11 日（月）18:30 ~ たづくり 304

出席者：市民 3 名。行政：1 名 + 事務局 3 名

1. 年間スケジュール

出席が少なかったためスケジュールの確定は保留となったが、優先課題として・環境基本計画に盛り込みたいこと・崖線樹林保全・全体会準備・学校との協力を決定。

活動支援の按分に関しては活動に関わる市民が多く集まる場で按分を検討してもらい、結果を運営会議に戻す。

2. プロジェクトについて

ちょうふ環境市民懇談会の事務局を市民が担うプロジェクトの立ち上げを承認。

3. その他

雑木林塾について：環境保全課が計画、懇談会運営会議の場にて決定。

ワークショップのまとめについて：

「調布市環境管理計画見直しに関するちょうふ環境市民懇談会からの提案 ~ ワークショップのまとめ ~」資料を追加、差し替え提出で確定させる。特に関心のある項目は 8・9 月の運営会議で話し合い反映させていく。

ちょうふの自然だより：編集チームが懇談会へ記事の分担等を依頼。編集担当がもう一人くらい欲しい。

連絡会の当面の運営：司会・議事録等を運営委員が担う

活動グループ連絡会

7 月 19 日（火）18:30 ~ たづくり 304

参加者：市民 8 名

1. 活動グループ情報交換

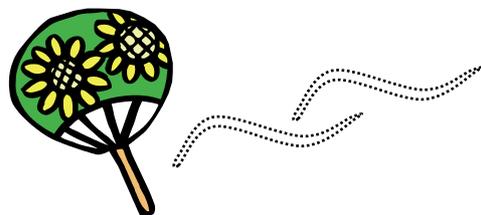
今回は環境モニターが今までのいきさつと今年度の活動である植物調査・そぞろ歩きについて説明。意見交換の際、「自然環境モニター」と改名したらよいのではという発言やモニターのあり方、予算の使い方などに話が及んだ。

2. その他の活動報告

- ・ 入間樹林の作業：階段作り
- ・ ねこじゃらし：さき布によるぞうり作成
- ・ 柏野小総合学習のサポート
- ・ カニヤマの作業：枯れ木伐採
- ・ 子どもエコクラブの野川探検
- ・ 植物調べ隊として 7 月 24 日加アト見学
- ・ 田んぼの学校：田植え時に無かった水がある。今後の取水方法を考えたい。

等の話題が出ました。

8 月の連絡会はお休みです。次回 9/20



## 活動予定

### 環境モニター

日時：8/6(土) 9:30~12:30

場所：多摩川鉄橋下流 オギ原集合

内容：植物調査(堰付近)

日時：9/3(土) 9:30~12:30

場所：みんなの広場南土手ベンチ付近集合

内容：植物調査(ワンド下流)

ルーペ・図鑑・カメラ・双眼鏡・筆記用具・飲み物等ご持参ください。問合せは事前に環境保全課へ。

### 人間・樹林の会

日時：8/20(日) 9:30~12:30

場所：人間地域福祉センター集合

内容：西側樹林地道づくり、階段補修作業等

原則として毎月第3日曜に活動しています。関心のある方はぜひ環境保全課にお問合わせください。直接地域センターに来訪も可です。

### かに山の会

日時：8/13(土) 10:00~12:30

場所：深大寺自然広場入り口集合(野草園前)

内容：方形枠調査設定・カニ山の利用状況の聞き取り調査

原則第2土曜が活動日です。興味のある方はぜひご参加ください。お問合わせは環境保全課へ。

### 懇談会-運営委員会

日時：8/8(月) 18:30~20:30

場所：たづくり3階 301会議室

内容：環境基本計画の中に盛り込みたいこと  
今年度雑木林塾の内容承認

調布の自然環境について、市民と行政で話し合っています。興味のある方はどなたでも参加歓迎です。(8月の連絡会はお休みとなります。次回連絡会9/20)

### 編集後記

今回の「ひと」欄でご登場いただいた榎本さんと少しおしゃべりをさせて頂きました。御自身も地元の歴史などが好きで、郷土博物館等によく行かれるそうです。以前はご自宅に菜種絞り機があって近隣の方が菜種を持ち寄ったことや三中の南側に機械船と呼ばれる大きな砂堀りの池があったこと等めずらしいお話をうかがったり、お父さんの代の方が大正時代を思い出して描いたという、田んぼや小川がいっぱいの地図を見せていただいたり…。数十年ですっかり変わってしまった風景。これからの数十年後を考えたいですね。

(編集当番：鍛冶)

## イベント案内

こちらのイベント案内は、ちょうふ環境市民懇談会に関わる皆様から頂いた情報をもとに掲載しています。

### 多摩川水流解明キャラバン

京浜河川事務所では「水質の現地感覚調査」を実施します。調査は多摩川とその支川を、上流から下流までバスで回りながら、パックテストによる水質測定、川の中に住む生き物を使った水質の体験も行います。

調査日 8月21日(日)

集合、解散 JR青梅線青梅駅南口ロータリー  
午前9時集合、東急田園都市線二子多摩川園駅  
午後4時半解散(予定)

応募 小学校5年生以上の方、小・中学生の方は  
保護者の方と一緒にご参加ください。

参加費 無料

定員 30人、応募者多数の場合は抽選

申込 京浜河川事務所ホームページアドレス  
(<http://www.keihin.ktr.mlit.go.jp/>)  
7月31日(日)応募締め切り

問合せ 京浜河川事務所河川環境課  
045-503-4011

### 夏の高尾山親子自然観察会

森林インストラクターと一緒に高尾山日影沢の自然の不思議を体験してみませんか。

日時 2005年8月20日(土)

集合 午前9:00 JR中央線高尾駅北口改札外  
午後3:00頃解散予定

費用 1人500円(保険料、資料代含)  
交通費は各自負担願います

募集 5歳以上の親子50名(応募多数の場合は抽選)

応募 参加希望者は往復ハガキに、住所、電話番号、  
参加者全員の名前、年齢を記入して下記まで。

〒193-0943 東京都八王子市寺田町  
432-108-101(丹野方)森林インストラクター-東京会/高尾山親子観察会係宛

### 野川に池と小川をつくろう

野川流域連絡会生きもの分科会主催、野川公園の湧水を活用した池と小川づくりに参加しませんか。

日時 9月3日(土)・4日(日)の2日間  
両日とも午前10時~午後3時(雨天中止)

集合 野川公園自然観察センター前(野水2丁目)

費用 大人100円(保険代など)、子ども無料

定員 申込み順40人(1日でも可能)

小学生3年生以下は父兄同伴

申込 8月8日~15日午前9時から午後5時までに電話で野川流域連絡会事務局(東京都北多摩南部建設事務所)042-330-1845へ

ちょうふ環境市民懇談会は調布の自然環境を市民・行政・事業者の協働で保全・改善・回復していくために設立されました。2001年から保全活動の交流・支援、人材育成、情報収集・発信、話し合いなどの活動をしています。ぜひご参加ください。

発行：ちょうふ環境市民懇談会

連絡先：調布市環境保全課 tel 0424-81-7086  
E-mail: kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp